

第2章 調査結果

平成 12 年度に三重県内で発生した産業廃棄物の発生及び処理状況の概要は、以下のとおりである。

第1節 結果の概要

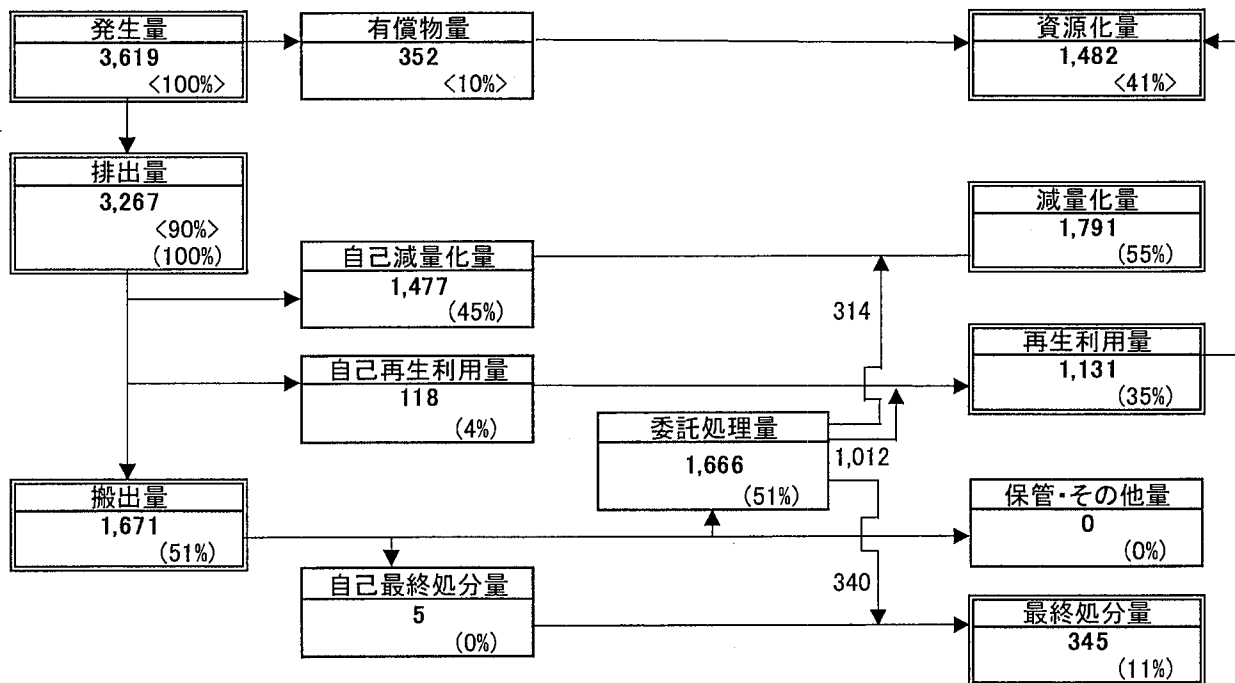
平成 12 年度に三重県内で発生した産業廃棄物の発生量は 3,619 千 t で、有償物量 (352 千 t) を除いた排出量は、3,267 千 t となっている。

排出量 3,267 千 t のうち、排出事業者自らの中間処理による減量分 (1,477 千 t) と自己再生利用量 (118 千 t) を除いた搬出量は 1,671 千 t (排出量の 51%) となっている。

搬出量 1,671 千 t は、自己最終処分 (5 千 t) 及び委託処理 (1,666 千 t) に分かれる。

委託処理量 1,666 千 t のうち、中間処理による減量が 314 千 t、再生利用量が 1,012 千 t、最終処分量が 340 千 t となっている。

排出量に対して減量化量が 1,791 千 t (排出量の 55%)、再生利用量が 1,131 千 t (同 35%)、最終処分量が 345 千 t (同 11%) となっている。



注 上図の数値は千 t 未満を四捨五入しているため、総数と個々の合計は一致しない場合がある。

図 2-1-1 発生及び処理状況の概要